

令和5年度 第3回 気田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月19日（木）14時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 気田小学校 会議室
- 3 出席委員 森下 薫、正久 幸廣、山下 晃二、山下 太一郎、福島 亜弥、清水 恭子
- 4 欠席委員 児玉 和三、岩本 祐美子
- 5 オブザーバー 米倉 理恵（気田幼稚園長）、佐々木 徹（春野協働センター）
- 6 学 校 堀部 憲一（校長）、野嶋 孝弘（教頭）、森下 裕子（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 協議事項
(1) 学校運営に対する感想や意見等について
(2) 学校経営方針ビジョン実現のための、学校運営協議会としての手立てについて
- 9 会議録作成者 森下 裕子（CS ディレクター）

10 会議記録

司会の 野嶋 孝弘 から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。司会から、会長の選出について意見を求めたところ、山下太委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(1) 学校運営に対する感想や意見等について

学校でフジバカマを育て、アサギマダラが1匹飛来したという教頭の報告を受け、委員より以下の発言があった。

- ・今年アサギマダラが少ない。例年10羽20羽見られるが、今年は2羽程度しか見ていない。毎年飛び立つ前に卵を産み、5月に羽化するが、今年はその時期に長雨や大雨があったので打たれて落ちたりしたのではないか。今年10月に飛び立った蝶の卵が羽化し、来年は沢山みられるといい。（山下太委員）

引き続きフジバカマを育て、観察していくこととした。

(2) 学校経営方針ビジョン実現のための、学校運営協議会としての手立てについて

1. 春野のよさ・課題について10分グループワークをし、発表をした。

(①清水、福島、山下晃、②森下・山下太・正久)

- ① 年の離れた子供たち同士の接点が少ないと感じる。幼稚園児～中学生が一緒に活動ができないかということで、以下の意見が出た。ケアセンターのところに果樹園を大学生と一緒に作ったので、その観察や収穫等の体験を園児～大学

生と活動してはどうか。

- ② 観光に来た人に尋ねられても春野のことを教えることができないのは情けないと感じる。また、観光で来た人の方が春野に詳しいと感じる。地元の人が春野の良さをあまり知らないので、子供たちに春野のよさを知ってもらい、観光客に道案内ができたり、詳しい話ができたりするようになってもらいたい。グループ学習で各グループに専門知識のある人についてもらい、色々と教えてもらったらどうか。

2. ふるさとキャリア教育に向けて学校・地域で取り組めること

校長から運動会の日程について熱中症が心配であることから、涼しい時期に変更したいと考えているが、意見をいただきたいという話があり、委員より以下の発言があった。

- ・現場の意見が大事だと思うので校長の意見に賛成である（山下晃委員）
- ・ニュースでも熱中症で倒れる子が多いので涼しい時期にやる方がいいと思う（森下委員）

学校が案として提示した11月頃を検討するように運営協議会から学校へ提言した。

(3) その他連絡事項

司会より今後の日程について以下のような発言があった。

- 第4回 令和6年 2月16日（金）14時30分から15時30分
学校関係者評価について
学校運営協議会の1年間の取組について
次年度の学校経営方針・活動・取組について

150周年式典の出席をお願いします。